



予防査察の理想と現実 ～理想への挑戦～

富士五湖消防本部 萱沼慎二

「予防を希望する職員は、おかしい」
「予防なんて一部の人でやればいい」
「予防なんて事務職だ」
「予防なんて・・・」

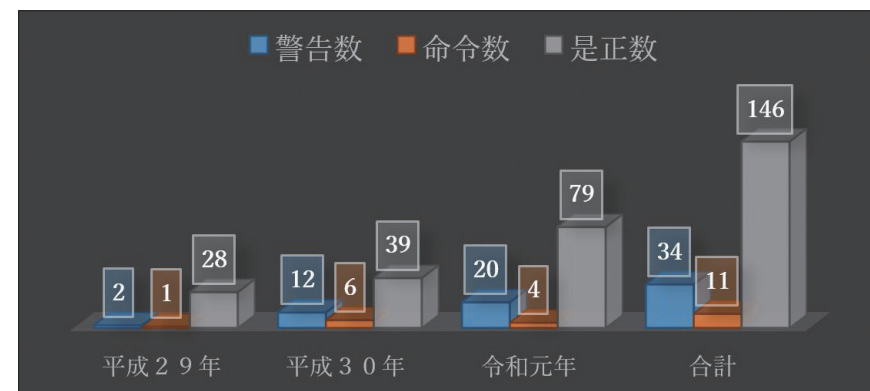
数年前の当本部の率直な意見だ。
消防の業務として、予防が認められていない。
それが現実であった。

富士五湖消防について

富士五湖消防本部は山梨県、南東部に位置し、管内には富士山と5つの湖を有し、四季折々の美しい自然を求めて、国内外から多くの人々が訪れる地域を管轄している。職員数は164名。予防体制は本部予防課に課長以下6名、署に毎日勤務の予防担当者が6名配置されている。当本部の消防力の整備指針での予防要員数充足率は26.6%。全国平均の半分以下である。



令和元年度消防長点検



特定防火対象物の重大違反のみの違反処理是正数

俺たちでもできる

令和2年1月17日に覚知から1年以上の重大違反対象物が富士山のふもとの町、富士五湖地域より消滅した。平成29年より違反に戦いを挑み、これまで146件の違反を叩き潰した。とにかく実践を重ねながら、無駄を省き、少ない人員でも違反是正ができる思考を追求し、「俺たちでもできる」そう確信した。

当本部も3年前までは、違反処理などやったことがなかった。警告1件がやっとである。その警告さえも最後まで仕留め切れていなかった。そんな消防がどのように変わり、今何を思い、考えるのか、個人の意見として本音で執筆する。

富士五湖Style

- ・違反調査は2名で実施
- ・違反調査書類はその日に起案
- ・図面はあるものを使用。なければ登記に手書き
- ・見分調査は違反を特定できる事実のみ記載
- ・調査書類は可能な範囲で事前に作り、調査時に不明な部分のみ追加
- ・覚知する前に調べあげ、是正方法を通知書交付時にすべて説明
- ・事案ごと違反担当の窓口は1人
- ・違反処理対象物は本部で進捗管理(電話連絡のみ)
- ・署へ本部予防課が協力できる体制の確保
- ・必ず規程通りに行く
- ・一番のこだわりはスピード感と必ず是正

そして定時に帰る。

このような考え方、業務内容により弱小消防でも無理なく違反是正の世界に飛び込むことができた。

小規模消防として決して背伸びはせず、違反を是正させるという本質だけ求めて結果を出している。違反是正に時間も人員も予算も必要ない。消防の規模の大小も関係ない。「必ず是正」の強い気持ちのみが必要であるとの考えに至っている。

査察の現実

筆者が小僧の時代、先輩から「消防は、とりあえず指導しておけばいいんだよ」と教えられた。その教えを、当たり前のようにやり続けた。当時、通知書もなく建物関係者に「○○○設備を設置してください」と口頭で伝えるだけの独り言を何年、何十年も続けていたのである。勿論、是正されるはずがない。そして、臭いものには蓋をする。

以前の富士五湖消防本部の査察に対する思考

- ・指導しておけばいいとの考え
- ・毎年同じ対象物に査察する
- ・追跡調査はなし
- ・違反処理なんて夢の話
- ・危機感なし
- ・査察は業務優先順位で最後
- ・そもそも是正させようと思っていない

違反是正

違反の山

そんな査察では、組織としての違反数の把握もできていない。そのような中、消防庁より、重大違反の調査依頼がきた。その時初めて、当本部の重大違反の数を知る。現実には違反を放置し続けた、違反の山であった。

とりあえずやってみるか

この違反の山を、報告しなければ、公にはされず、組織内でも数字として表れてこない。そうすれば、これまで通りの査察でよかった。

変わるのか。

変わらないのか。

前者を選択した。

理想への挑戦の始まりである。「とりあえずやってみるか」の精神で。

不安

「やってみるか」はいいが、当本部に違反是正のノウハウはない。漠然と違反処理を行うことくらいしかわからない。本当にできるのかは不安であったが、不安であるがゆえに何もしないのであれば、何も変わらない。「違反是正しながら勉強していこう」と考えてスタートした。

今思えば、この一歩ですべてが決まった。

全国の仲間

当本部には違反処理の知識や経験等がなくとも、全国には所属は違えど、同じ目的を持った消

防の仲間がいる。当本部が変わるまで、本当に助けていただいた。知識や手法など、たくさんの助言や、励まし、勇気をもたらった。この誌面を通じて、ご指導いただいた皆様に御礼申し上げます。

消防士の使命

これまで違反是正を行っていく中で、様々な失敗、挫折、苦悩があった。これらは、消防士として採用されたばかりの初心の頃に描いていた、「人を助けたい」との熱い思いを、今一度奮い立たせて乗り越えた。どのような立場や業務であろうと、消防士であることは決して忘れてはならない。

初の命令事例

あるホテルにて屋内消火栓未設置違反、自動火災報知設備一部未設置違反が長期間継続していた。このホテルは旧適マークも取得し、関係者も町の名士が集うクラブに所属し、会長を務めるなどの人格者である。筆者が担当したのは平成27年から。台帳に残された記録により、難しい事案であることは感じる事ができた。関係者と初対面の感想は、違法意識はまったくない。権力を振りかざし、行政の痛い所がお見通しという感じであった。また、行政が困る、諦める対応方法もわかっている。中々の強敵である。着信拒否、居留守は当たり前。指導も進まない。最初は消防法第4条違反で告発も検討したが、その間、このホテルを利用する方々は危険にさらされ、消防の目的である消防組織法第1条を果たすには時

間がかかる。だから、考えられる、ありとあらゆる方法(待ち伏せ、張り込み、手紙攻撃、置き紙など)を使用して関係者と接見し警告、命令、催告と違反処理を行使した。恐喝、恫喝などを受けながら本気の駆け引き勝負を繰り返した。クライマックスでは関係者も開き直り「罰金を払うから告発しろ!」との一点張り。組織としても告発を考えた。これまでのやりとりはすべて記録として残し、悪質性を立証できるほどの資料は揃っている。警察とも協議を始め告発書も作成した。本当に最後となる時(すべての消防権限を使い果たした時)、関係者とのやり取りで勝負をかけた。その際、是正への手ごたえを感じ、その数日後、ようやく是正した。

違反処理を阻害している、しがらみを潰すために、あえてこの事例を当本部初の命令事案とした。この実践から知識、技術、勇気を得ることができ、関係者には本当に感謝している。この実践なくして、今はなかった。

行政同士のタッグ

ある命令事例では、違反処理中に名宛人が変更された。この変更により、旅館業法の無許可営業となり、保健部局と連携して違反を是正させた。また、ある事例では建築途中の建物を使用して営業していたので、建築部局と連携して警告前に是正させた。消防法のみではスピード感のある違反是正ができない事例も存在するのが現実だ。そんなときは、他部局とタッグを組み、

違反処理することも是正に向けての近道となる場合もある。

担当者VS関係者

当たり前ではあるが、違反是正は関係者との闘いですべてが決まる。理想への挑戦の初期の頃、関係者との闘いに多大なストレスを感じていた。しかし、ある日、違反是正とは、「消防法VS関係者」又は、「消防組織VS関係者」であるとの考えを持つことができた。私たち担当者はただ、消防法又は組織の考えを伝えるだけの人である。非常に気楽になった。

履行期限

違反処理を行っていくと様々な出来事が起こる。最も多かったのが、関係者に履行期限の延長を泣きつかれることだ。これは、絶対に定められた履行期限通りにしたほうが良い。いや、したほうが楽なのだ。前記したが、「消防法VS関係者」であるので、担当者の考えや思い、などが考慮されるはずがない。それらを考慮してしまうと、今後、上位措置に移行する場合に余計な説明が必要になる。違反処理は履行期限通りにやっていくことが、実は一番楽なのだ。

田舎のしがらみ

これまで、ほとんどの関係者が当本部の同僚の名前を出してくる。田舎のしがらみである。知り合いだからやりにくいではない。知り合いを



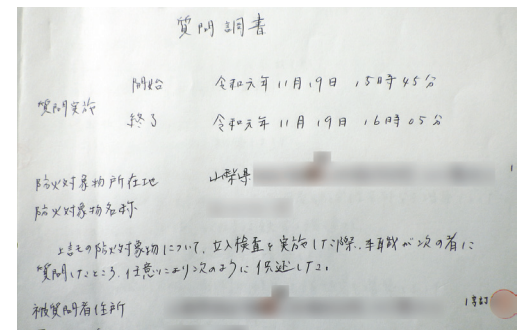
(5) 項イで木造、自火報未設置、避難器具未設置、特定一階段、堅穴区画未形成で3階の使用制限(法5条の2行使)



B区分研修受入時の無通告査察(法5条の3行使)



建築途中の建物を使用しており、警告前に是正



現場にて様式がなく、手書きにて作成した質問調査

❌ 違反是正

使って是正させる方法もある。田舎で事業をしている関係者はプライドが高い。それ故に、世間の目を気にする。だから田舎であるほうが、是正しやすい。

関係者との信頼

当本部では、違反是正の関係者に対して、誠意を持つことにも重点を置いている。まず、関係者との初対面の時が一番、重要であると考ええる。だから、何時間かかろうと関係者が納得するまで話し合う。その時の対応により、違反是正の今後が大きく変わってくる。信頼を得ることが是正への一番の近道なのである。パチパチの違反処理をした関係者と、休日に街中で遭遇することもあるが、笑って話せる。

必ず守る

違反是正現場では関係者より様々なことを言われる。これはしょうがない。関係者が愚痴を発散できるのは、目の前にいる担当者だけであるから。なので、話はすべて聞いてやるようにしている。しかし、話を聞いたとしても関係者の言いなりにはならない。

どのような理由があろうとも、是正させることと、履行期限は必ず守る。

違反処理とは

これまで警告へ移行したのが23%、命令が7.5%、命令違反が1.3%、違反処理前には是正した

のが76%。

違反処理とは、様々な理由により指導開始から、履行期限内に是正できない場合に使用する手法であり、違反処理することがすべてではない。違反処理の先にあるものは、是正であることを決して忘れてはならない。

独りよがりな違反処理は、当本部では絶対にやらない。

強み

小規模消防であるが故に、組織としての団結力はある。トップ(消防長)の一声で、職員の意識を同じ方向へ向かせることも容易である。人員が不足していても、助け合いながら業務を行っている。独自の強みである。

小規模消防だから「できる」

情熱

理想への挑戦は、当本部の幹部、予防担当者、隔日勤務員すべての職員が一体となり、情熱というエネルギーにより、今までの現実から脱却することができた。職員全員に敬意を払い、同じ職員であることを誇りに思う。

当本部で「予防なんて…」との現実が消滅した。

今後の富士五湖消防

違反是正も経験数によって、難しく感じなくなる。また、ストレスも感じなくなる。当本部は現在、肩の力を抜いた違反是正を行えるようになった。

是正へのノウハウを得た。

今、これまで蓋をしていた対象物に手を付け、次々と重大違反を覚知している。今後も違反是正を継続し続け、険しい道であるのは重々承知しているが、理想へ一歩ずつ近づいていく所存である。

変わるには

ないものねだりをしていては無駄だ。今も危険にさらされている建物利用者は沢山いる。

やりながら考えればいい。

やりながら調整していけばいい。

やりながら規程を作成していけばいい。

やりながら見合った体制を目指せばいい。

やりながら学べばいい。

話し合いはやめて、動き出そう。

動かなければ、決して変わることはない。

最後に

違反処理に対して、最初の一步が不安であるのは筆者も経験している。しかし、その不安は想像から作り出された、ちっぽけなものである。実際に違反処理をやってみると、不安なんてすぐ吹き飛んでしまう。思い起こせば、これまで、がむしゃらに突っ走り、違反を是正することだけを考えてやってきた。上司や同僚に無理をさせていたことも多少はあったのだと思う。しかし、皆、情熱を持って前進してくれた。常に関係者との話し合いで、「自分は正しいのか？」と自問自答し

てきた。様々な失敗や苦悩、孤独感も感じ、逃げ出したいと思った時も正直あった。しかし、違反が是正されていく喜びを励みに、モチベーションの維持を第一に考え自分を鼓舞してきた。今でも失敗はある。人対人の違反是正現場は参考書通りにはいかない。少しくらいの失敗をしてもいい。そんなもの調整可能だ。恐れることはない。

本稿において、生意気な表現を記してきた。誠に恐縮である。しかし、これだけは揺るぎない。本気でやってみた人でなければ、見られない査察の世界がある。面白いほど是正していく、その世界が本来の予防消防の姿である。

未だ違反処理に踏み込めていない消防本部も存在していると聞く。様々な理由があるのだろう。しかし、現在はアドバイザー制度、弁護士相談事業、実務研修等の違反是正に対する支援が確立されている。更に、本年4月より全国の消防本部で違反公表制度が開始された。

変わるには、今がチャンスなんだ。

いや、今しかない！

やらない思考は捨て、やれる思考を求め、違反是正を実行して、失敗と改善の先には、輝かしい査察の未来が待っている。

最後に、これからの富士五湖消防本部の担当者と、全国の悩める担当者に

違反是正には、消防士としての情熱と、私たちに与えられた権限の意味を忘れず

「必ず是正」

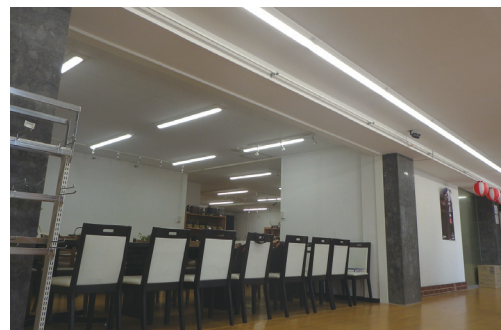
さあ 理想へ突き進め。



縦穴区画防火シャッター連動不備により常時閉鎖(法5条行使)



地階の屋内階段横の倉庫内に存置された物件に対する措置(写真下の黒い配管により区画が形成できないため、階段区画内と同一であると判断し法5条の3行使)



中国国籍の所有者の未把握対象物であり、警告で是正(立入時、消防用設備の設置は何もなし)



立会人の写真(必ずしも正対でなくともよい)